

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 30 日

評価対象事業	文観	-	32	技能振興事業				☐ 法定受託事務	
所管課	産業課				評価者	産業課長 角田如生			
一般	会計	款	25	項	5	目	5		
総合計画上の位置付け	分野名	勤労者福祉			施策の方針名		労働環境の充実		

1 事業の目的

対象	技能職者	意図	技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。
効果	技能振興を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	技能職者の顕彰及び技能職団体連絡協議会の活動支援	技能職者の顕彰及び技能職団体連絡協議会の活動支援	技能職者の顕彰及び技能職団体連絡協議会の活動支援
予算額（千円）	958	882	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	958	882	0
当初人員配置数	1.0	1.0	0.0
人件費（千円）	6,390	6,624	0
事業実績	技能職者の顕彰及び技能職団体連絡協議会の活動支援		
決算額（千円）	689		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	689	0	0
人員配置実績数	1.0	0.0	0.0
人件費（千円）	6,212	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	技能祭の参加人数	人	2,000	↗	2,000		
	実績につながる活動	小中学校、公共施設等へのチラシ配布のほか、SNS発信、ホームページ掲載、FMかまくらでのイベント紹介				-		
活2	指標名	技能職団体連絡協議会の活動（技連協ニュースの発行）	部数	1,500	⇒	1,500		
	実績につながる活動	技能職団体事業への支援				-		
活3	指標名	技能者表彰者選考委員会の実施	回	1	⇒	1		
	実績につながる活動	技能者表彰者を選考するために技能者表彰選考委員会を開催した。				-		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	天候
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	技能職団体と協力して予定した事業内容を概ね実施することができた。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	技能体験活動の参加者数	人	164	↗	278			1 2
成2	技能者表彰者数	人	11	↗	5			3

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	若年層の減少
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	技能体験活動は、小中学校と調整した結果、参加回数と参加者数の増加につながった。技能者表彰については、若手技能者の減少により、青年優秀技能者については該当者がいなかったことも影響し、被表彰者数は減少した。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	技能職団体連絡協議会の活動を着実に実施しているが、技能体験活動の参加者数は増えたが、技能者表彰数は減る結果となった。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	技能職団体連絡協議会と連携し、技能祭や技能体験活動などを通じて、市民の日々の生活が技能に支えられていることを実感する機会を提供することでできたほか、技能者を顕彰することによって技能の振興を図ることができた。今後も技能職団体連絡協議会と連携し、技能の振興を図っていく。			
				上位施策への寄与度	
				A	

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	技能者表彰の実施の有無及び令和7年度の表彰者数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
制度の有無、表彰人数	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	5	24	26	21	47	22	4		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	技能者表彰制度により、優れた技能を持つ技能職者を顕彰することにより、技能の奨励と後継者育成に資することを目的に、多くの自治体で同様の制度が運用されている。
----------------------	---